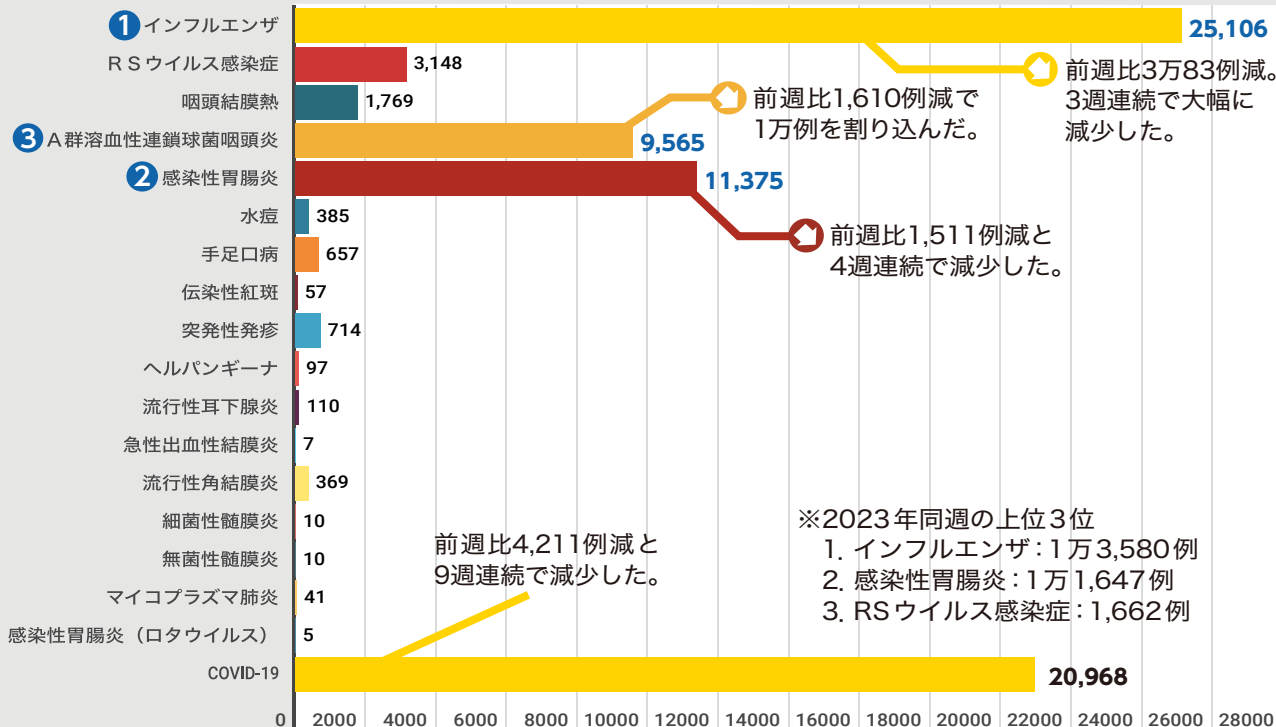


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

# RSウイルス感染症、14週連続増加

丸数字は上位3位



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

## 1 インフルエンザ

| 報告数             | 定点当たりの報告数(5.10) |
|-----------------|-----------------|
| 1. 東京都: 1,744例  | 1. 山形県: 11.47   |
| 2. 埼玉県: 1,600例  | 2. 新潟県: 10.25   |
| 3. 神奈川県: 1,578例 | 3. 愛媛県: 9.67    |
|                 | 4. 鳥取県: 9.28    |
|                 | 5. 群馬県: 8.50    |
|                 | 6. 富山県: 8.21    |
|                 | 7. 福島県: 7.98    |
|                 | 8. 岩手県: 7.97    |
|                 | 9. 山梨県: 7.51    |
|                 | 10. 島根県: 7.45   |
|                 | 11. 栃木県: 7.34   |
|                 | 12. 茨城県: 6.92   |

## 2 感染性胃腸炎

| 報告数            | 定点当たりの報告数(3.64) |
|----------------|-----------------|
| 1. 東京都: 1,010例 | 1. 富山県: 9.29    |
| 2. 大阪府: 802例   | 2. 大分県: 7.25    |
| 3. 兵庫県: 659例   | 3. 愛媛県: 6.57    |
|                | 4. 石川県: 6.24    |
|                | 5. 鳥取県: 5.63    |
|                | 6. 香川県: 5.50    |
|                | 7. 島根県: 5.26    |
|                | 8. 兵庫県: 5.11    |
|                | 9. 鹿児島県: 4.74   |
|                | 10. 宮崎県: 4.58   |
|                | 11. 京都府: 4.51   |
|                | 12. 熊本県: 4.50   |

## 3 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

| 報告数           | 定点当たりの報告数(3.06) |
|---------------|-----------------|
| 1. 北海道: 878例  | 1. 山形県: 7.25    |
| 2. 東京都: 665例  | 2. 北海道: 6.41    |
| 3. 神奈川県: 558例 | 3. 愛媛県: 5.22    |
|               | 4. 新潟県: 5.20    |
|               | 5. 宮崎県: 4.92    |
|               | 6. 佐賀県: 4.48    |
|               | 7. 富山県: 4.50    |
|               | 8. 鳥取県: 4.21    |
|               | 9. 千葉県: 4.09    |
|               | 10. 福岡県: 4.03   |
|               | 11. 茨城県: 3.92   |
|               | 12. 福井県: 3.76   |

## 今週の感染症動向

インフルエンザは3週連続で減少し、注意報レベル(10.00)の地域は山形県(11.47)、新潟県(10.25)の2県のみ。いまだ昨年同週(1万3,580例)より多いが、定点当たりの報告数(5.10)は昨年第40週(10月2～8日)以来、半年ぶりに1桁台となった。

感染性胃腸炎は4週連続で減少し、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は3週連続で減少した。ただし後者は1万例を切ったものの昨年同週(1,537例)の6.22倍と、例年に比べてかなり多い状態が続いている。

前週は減少幅が鈍化したCOVID-19は4,211例減と大幅に減少した。

一方、RSウイルス感染症は今年(2024年)に入り14週連続増加し3,000例を超えた。昨年この時期から緩やかに上昇を続け、第27週(7月3～9日)に1万613例とピークを迎えたが、今年は高齢者用ワクチンが上市されたことで(母子免疫用も発売準備中)、動向が注目される。